

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	町内会での交流。第三火曜は町内会のふれあい交流会に参加させて頂いています。	○	運営推進委員会の実施。三ヶ月に一度の町内会交流会への参加。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	当ホームの理念をすべての職員が理解し、その理念がベースとなり介護業務に取り組みケアを心がけています。	○	月に一度のケアスタッフ会議では、スタッフ一同の意識の相違なく理念の共有は、しっかりとれていることを確認しています。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域への社会交流をできる限り行っていきたいという、当ホームの取り組みとして、ご家族への報告、地域への報告、交流会への参加について、実施しております。	○	第三火曜は、ふれあい交流会です。毎月参加を、貴重な時間とし、参加させて頂き、地域の方との交流をはかっています。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内会のふれあいの成果もあり、近所の方々に利用者さんの方の顔を覚えていただき、散歩や喫茶店等、気軽に声をかけていただける。又、野菜を頂いたりする事もあります。	○	当ホームでも、野菜を作っており、そのお野菜をお返しできるようにと、畑作業にも取り組んでおります。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方々との交流は、とても大切な事と重視し、利用者様との交流を大切にしています。散歩もかねて、外へ出る機会を多くしております。	○	利用者様の顔を覚えて頂く事が、とてもよいことと思います。散歩へ出ること、交流会参加の効果が見られます。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>今後、地域の方々との交流を、通していく中で、貢献できることを見つけていきたいと考えます。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>毎年、外部評価を受けることの、大切さがあります。私たちは、当ホームをよりよくしていくため、振り返りと見直しをしておくことが大切だと思います。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>意見を交換する事で、今後のサービスに活かすことができます。とても良い時間ですので、向上に繋がりたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>今後も、市町村との繋がりを大切にし、サービス向上に繋がれるよう、積極的に取り組んでいけると良い。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>具体的に制度について、理解に乏しい面があり学ぶ機会を持ちたいと思います。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>介護視での虐待についての認識ははっきりしており、まったく見受けることはない。関連法については、再度学ぶ必要があると思います。</p>

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	<p>今後も丁寧に対応し、わかりやすく説明してきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>利用者の方が気軽に不満や、意見がいえるような雰囲気作りに努めます。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	○	<p>月に一度、ご家族へお便りを発行し、利用者の方の状態を報告している。又、特変があればその都度、御家族に報告している。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>職員の方から御家族に、不満等尋ねる場を設ける様にする。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	<p>管理者が職員の意見や提案を、聞く機会を作り、上司に報告出来るようにする。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	<p>どんな時も、柔軟に対応できるように、随時職員の配置と対応は、上司の指示どおり行っていくことが出来ています。</p>

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動はありません。離職した場合、新しい職員がなれるまでフォローしています。</p>	○	<p>職員間で何でも話し合える、雰囲気作りに努めています。</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>他の店舗の人員不足の際は、応援に行き、他の店舗の良いところを吸収しています。</p>	○	<p>職員の定着を図り、研修など積極的に参加出来るような環境作りに、努めています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>職員はなかなか、難しいですが、上司が事業所代表として、交流会などに出席し、報告しています。</p>	○	<p>職員も、他の同業者との交流会に参加し、長所は吸収していけるような機会を作りたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>月に6回希望休をとり、ストレスがたまらぬように、リフレッシュする機会がある。</p>	○	<p>年に何度かは職員間で、食事会などを設けて、意見の交流やストレス発散できるような、場を設けていきたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の長所は、ほめるようにし、向上心につながる様になっている。</p>	○	<p>各自が向上心をもって、働けるように努めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人様の希望や不安に感じるなど、十分に話を聴く時間をとることが、出来ていると思います。そして、できる限り、聴き出せるように、努力しております。	○	今後も、今まで以上に、本人さまのお気持ちの聴きだしをし、さっして、配慮できるように努めたいです。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様が、お考えのことをこちら側が、引き受け、どんな小さなことでも、受け止めれるよう努めております。	○	今も出来る範囲で、家族との聴き取りをすることを、重視しておりますが、さらに深めれるように、努力が必要と思われます。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様とご家族の、お話を聴かせて頂く中で、対応させて頂く様、努めています。	○	初期の対応ということで、充分にお話の内容を、まとめて、対応がしっかり出来るように、努めたいと思います。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人様に、不安感を与えることのないように、配慮するよう努めています。そして、場に慣れて頂くことから、馴染めるように心がけています。	○	ご本人のペースで、生活が安心して送れるように、常に配慮することを、心がけて行きたいです。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族のように関わる事が出来る、支えあうことの、温かみを感じたいと、日々関係を築けるよう、努めています。	○	職員側として、うまく対応できなかつたり、きずきが遅かつたりすることもあります。積み重ねて行くことを、大事にしながら、接して行きたいと思っております。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人を支援させていただき上で、ご家族の関係も大変重要な事と考えます。ご家族の理解の上、私達職員は支援させていただくことが出来ます。	○	今後ご家族とご一緒に支えて、行けるよう築いていきたいと思っております。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	職員が出来ることである限り、私達は理解に努め、良い関係が築けるように、支援していきたいです。	○	今以上に本人と、家族との関係の理解に努めたいです。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染みである事、関係が切れぬように支援に努めています。	○	馴染みである人や場、途切れぬことがないように、日々の生活の中で、支援に努めて行きたいです。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士の関係は、様々ですが、職員は把握し、関わり合いを大切にしております。	○	職員が把握していることで、その関係をよりよく保つことが、出来るよう支援に努めたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者の御家族さまより、必要とされる場合は、お付き合いを大切にさせて頂きたいと考えます。	○	今までのケースでは、付き合いが自然となくなるといった具合でしたが、必要以上にこちら側は、立ち入れないケースもある。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の希望は、必ずお聴きした上で支援をさせて頂いています。職員が利用者様への把握に、日々努めております。	○	毎日に変化や、その時々利用者様のお気持ちを、さっしていけるよう、努めたいです。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員は利用者様の生活歴や、馴染みの事を、理解しています。サービスに活かして行く事を重視しています。	○	体力等も、お年を重ねられる暮とに、以前のようにはいかなくなっていくます。利用者様の状態を理解しながら、支援に努めたいです。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々体調の変化はしている点、心の面でのサポートを出来るように、把握することと、少しの信号を見逃さないように、心がけています。	○	毎日同じような時間が流れているのではなく、毎日違う利用者様の生活の流れに、スタッフの意識を高め、支援を続けて行くことに、努めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネと、現場職員がご本人と、ご家族の本意とケア側が、よりよく関われるか、ケア会議を充実させております。	○	今後ともご本人に関わる方々の意見を交わりを持って、利用者本意の介護計画を立てて行くことに努めたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間ごとに、見直しを行い必要に応じて、変更する項目、新たにプランに取り組みたい計画を作成しております。	○	期間以前に対応できない変化が生じた時は、速やかに検討し、新しく計画を見直す。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや提案を職員が、積極的に記録によって、残して行くことで、情報の交換が出来ていると思います。又、介護計画に活かしていると思います。	○	朝から、就寝までの個々の生活状況を、細かく記録にのこし、今後も情報共有をしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能性に関しては、限られた点が多く、柔軟な支援と言う面で、現時点で課題です。	○	事業所として、多機能性という面において、改善したり、考えて行く点が大きいです。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域での集いの参加や、消防、避難訓練は参加することがあります。その他の機関等、今より協力、支援を深めて行きたい。	○	地域支援という、協働について、今後も深めていけるよう、話し合っていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向があり、必要である場合の支援は、当ホームでは、現在1例あります。他のサービスを受けることができます。	○	個々に対して必要な、サービス支援に対し、地域の他の事業者の協力が得られるように、開拓していきたいです。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	三ヶ月に一度ですが、包括支援のかたとの定期的な報告会を、行うことで、今後の協働にも活かしてゆけたら、良いと考えます。	○	今後も、地域包括支援センターとの協働を深めながら、総合的なケアマネジメントに努めたい。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームより事前に、ご本人と家族の了承を得て検討し、かかりつけ医の決定を行っています。希望のある場合は、そのように対応させて頂いています。	○	歯医者や皮膚科等の、必要に応じて、かかりつけ医も検討し、ご家族の同意を得て、対応させて頂いています。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医との連携は、当ホームの提携の病院の先生と、常に相談、援助を頂ける事が可能です。	○	利用者様の、状態変化については、その都度先生に報告をし、相談している。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員の中に看護師がおり、アドバイスをもらったりしています。	○	専門知識を持ち合わせている、職員に相談したり、かかりつけの医師に助言を頂いたりする。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院に向けた対応を、病院と情報交換することが出来ています。又、定期的に利用者様の様子も、伺うようにしております。	○	病院へ利用者様の、ご様子を伺ったときに、病院の方とお話し、退院に向けての連携が取れるように、努めています。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在の状態を随時、ご家族に報告しながら、話し合い、その、段階ごとに、対応させて頂いています。	○	具体的の方針として、共有する部分が、小さくしかまとまっていないので、今後の課題として、まとめていきたいです。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度利用者に対しての、スタッフの協働、そして利用者様への支援していくことを、話し合いを持ちながら、取り組む体勢を強めています。	○	沢山の事例を参考に、少しでも情報収集もして、変化に備え、十分な検討を続けていきたい。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	他の施設に移られる際は、本人や御家族に充分な 説明を行う。	○	ダメージ防止のため、十分な話し合いとサポート に、努められるよう、支援して行きたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	一人一人を尊重する声掛けを行うようにしてい る。また、情報が流出しないよう、心がけていま す。	○	プライバシーの尊重を、声掛けや会話でも、心が けたいと思います。又、個人情報の流出には気を つけていきたい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけ たり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	利用者の方々には、できるだけ思いを言ってい ただける様にしています。	○	言いにくい事もあり、遠慮もあると思います。そ の思いを引き出せるように、傾聴したいです。察 しれるように対応できるとよい。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	フロアや居室、お好きな場所で、自由に過ご していただけるようにしています。	○	個人の尊重という中で、その方らしく、日々の 日々暮らして頂く為に、一人一人のペースを大切 にして行きたいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	希望のある方は、行きつけの美容師に行ってい だいたり、希望のない方には、三ヶ月に一度ホ ムに美容士さんに、来ていただいています。	○	鏡をみたり、髪をとかしたり、身だしなみの時間 を、大事にしていきたいと思います。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な範囲で、食事の準備の手伝いをして頂いてますし、下善も出来る方には、毎回お手伝いして頂いています。	○	利用者様の力を活かしながら、日常生活の中で、役割をもっていただく事で、活力にしていけるように、支援して行きたいです。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望があれば行っていたが、ドクターストップがかかったため、中止している。又、月に2回の喫茶の日を設けて、好きなものを、お召し上がり頂いています。	○	医療面で許される範囲で、楽しみのあるものを支援して行きたいです。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご本人の負担にならないように、尚且つ、気持ちよく排泄できるように、個人個人にあったパターンで、支援させて頂いています。	○	排泄のリズムは毎日チェックし、個人の排泄パターンを、把握して、よりよい方法で、支援を考えていきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週二回は、必ず入って頂いています。それ以外でも、要望があれば、入浴していただいています。また、早朝、夜間にも希望者には、自由に入浴して頂いています。	○	入浴の日は、ゆっくり入っていただけるように、配慮し、ご本人の希望を尊重し、入浴の支援を行っています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後や、入浴後に自由に休んで頂いています。就寝時間も特に決めず、ご本人のペースに合わせています。	○	一人一人のペースに合わせ、安心して就寝して頂いています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事など、得意な方にはお願いして、役割を果たして頂いています。		利用者様の個々に得意なこと、お好きなことを活かして役割を、支援して行きたいと思えます。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要に応じて、(ショッピングの日) ご本人のお金をお渡しし、ご自分で所持してもらうなど、支援しています。	○	必用に応じてお渡しするお金は、職員側で金庫に入れて、普段は管理させていただいています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気がよければ希望の方のみ散歩に出かけたり、日光浴して頂いたりしています。	○	できる限り、外出のを持つことで、気分転換、運動、地域の方々との交流を兼ねており、実施しております。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節を感じていただけるよう月に一度は、行事を設け、外出できる機会を設けています。	○	御家族が、面会の際、ご本人と自由に外出できるようにしています。行事等も御家族に参加頂けるよう、今は、話し会っていききたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状には、一言御家族に、書いて頂けるよう支援しています。また希望があれば電話もできるようにしていきたい。	○	希望に応じ出来る限りのことを対応していきたいと考えております。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも自由に来て頂き、フロアや、居室お好きな場所ですごして頂いています。	○	利用者様にとって訪問して来てくださることは、とても心から嬉しく思われることですので、気軽に訪問して頂けるよう開放感ある。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束とされる行動等、充分理解した上で、正しく対応できるよう取り組んでいます。	○	直接身体拘束はなくても、精神的な拘束につながる事柄に関しては、どう対応策があるか話し合いながら、対処を考えたい。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の方々が、落ち着いてみえるときは、鍵はかけません。居室には鍵はありません。	○	今年になり、約1名の方ですか、3度出て行ってしまったことがございました。やはり、その面での対策として事故だけは避けなくてはいけない為玄関の鍵様子をみながらかける必要は、あります。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の方々の所在を確認し安全を確保している。	○	鍵を使用しなくてよいように、出来るだけ対応したいです。安全確認、所在確認をしっかり行っていきたい。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険と思われる物に対しては、予想をし、置き場の工夫と配置替えなど行っています。	○	気づくごとに、物品管理を、きちんと行っていきたいと考えます。危険性を早めにキャッチするようにしたい。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	H18年、全職員が、消防署にて、緊急時の対応の研修に参加しました。又その日の利用者の方の状態を把握するようにしている。	○	利用者様一人ひとりの、おきうる事故を充分想定し、それに順次対応できるよう、学ぶよう取り組みをしていく。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	H18年、消防署にて、訓練を受けています。	○	今後も定期的に行っていきたい。とても大切なこととおもいます。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練には、地域の方々に参加して頂き、協力を得られるようにしています。	○	地域の方々の協力は、とても大切なことと思います。その協力が得られるよう、災害対策について取り組みを強めたい。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族の面会時などに細かく説明するようにしている。又家族の希望をおききし、会議などで話し合っている。	○	対応策については日常変化し、低下される利用者様の状況報告を御家族には、随時お伝えし、今まで通り話し合いながら決めていきたいです。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送りを徹底するようにしている。	○	又、申し送りと共に伝達ノートに記録を残し確実な申し送りが出来るようにしております。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	すべての職員が、薬の介助を行うので、病院への発注からセットから目的、副作用を理解しています。	○	状態の観察を充分に行って把握するということを今後もしっかりと行っていきたいです。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	天気の良い日なるべく散歩にお誘いしている。また出来るだけ食物せんいの多いものをと心がけるようにしている。	○	どうしてもお薬を必要とはして来ますが、出来る限り、食物繊維をとりながら、体を動かし水分をとって対応と予定に努めていきたいです。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、全員口腔ケアを行っている。	○	毎食後口腔ケアを行うことを今後もしっかりと続けていけるよう努めたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	貧血の方、糖尿の方、水分拒否される方々がおみえになりますが、一人ひとりの摂取量を確認し、毎食一人ひとりに合わせた支援を行う。	○	今後も水分確保の支援と栄養摂取がしっかり、行えるよう、応じていきたい。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成し、実行している。	○	定期的に確認の勉強会を行っていきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器類は食器乾燥機で、熱湯消毒し、まな板等は、毎日消毒している。	○	今後も欠かすことなく、行うと共に、食事前のおしぼりの使用と、職員の手洗いも、こまめに行っていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に親しみやすいよう、家庭的な雰囲気となるよう、お花や写真を飾ったりしている。	○	玄関まわりの掃除も、きちんと行って、清潔感を出していきたい。庭のくもの巣とりや、草引きも定期的に行っている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を大切にしている。必要な所には、手すりをつけ、玄関周りには、季節の花などを飾り、楽しむことが出来る。	○	おトイレには、温風ヒーターを置き、寒さ対策を行ったり、今年はフロアのテーブルに、コタツをつけることが、出来ました。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方同士で過ごせる居間を提供し、過ごして頂いてる。	○	メインの場所は、フロアのダイニングテーブルとなります。そちらで、よくくつろいで頂けます。

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来る限り、ご本人の物を置けたら良いと思っている反面、馴染みの私物が少ないのが、現実です。	○	居室の中は、ご本人が使いやすく、落ち着く場所であるよう配慮したい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天気の良い日は、出来るだけ窓を開けて、換気に努めています。	○	特に冬は風予防の対策としても、空気の入替えはきちんと行いたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活面という面においては、バリアフリーはしていない建物ですので、一般家庭と同様な使い勝手が、逆に身体機能に活かされている面があります。	○	しかし、現在は身体機能も低下している方々が多くなり、車椅子対応での、安全面で充分注意しなければならない面が、多くなっております。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	お風呂や、トイレの表示はしっかりしています。カレンダーや時計も見やすく、目に入る箇所に置いております。	○	季節によって、掲示の工夫をし、四季の認識をして頂ける様にしたり、場所の標示を充実させる。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑で野菜や花を作り、利用者の方々の活躍の場を、設けている。	○	プランターでの花作りなど、土を触る楽しみと活動を、増やすことを行きたいです。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県. ハート介護センター グループホーム

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

昔ながらの家屋、自宅にいる様な落ち着いた雰囲気の中での生活。一番ベースとして大切に思う点です。家族のように心と心のつながりを理念に、利用者様との信頼関係を大切に職員一同日々の生活を利用者様と過させて頂いています。利用者様にとっての場であるこのハート介護センターは、心を込めた、ふれあいある生活を送れる場所であってほしいと、スタッフ一同は、利用者様の支援に取り組んでいます。利用者様の生活の支援と共に、利用者様の心に寄り添える支援をと考えています。